

## 第 34 回 高峰カンファレンスを開催しました

### 公益財団法人 第一三共生命科学研究振興財団

2018 年 3 月 16 日(金)、第 34 回高峰カンファレンスを開催しました。  
多くの大学、研究機関の研究者など、75 名の参加者が集まりました。

当財団では毎年、生命科学研究の発展に寄与した研究者に対して、高峰記念第一三共賞を贈呈しています。

高峰カンファレンスは受賞者の業績を記念して開催され、学术交流の場を提供することで研究のさらなる振興と、若手研究者の育成を図ることを目的としています。

今回は「ATL の病態・治療の最新の動向」という総合テーマのもと、記念講演とシンポジウムが行われました。



開催の辞を述べる中山理事長

記念講演では、京都大学 名誉教授 中西 重忠先生の座長の元、今年で 15 回目となった高峰記念第一三共賞を受賞された、京都大学大学院医学研究科腫瘍生物学講座 教授 小川 誠司先生が登壇され、「成人 T 細胞白血病の遺伝学的基盤について」というテーマで記念講演をいただきました。



記念講演座長を務められた京都大学名誉教授 中西 重忠先生



第15回高峰記念第一三共賞を受賞された  
京都大学大学院医学研究科腫瘍生物学講座 教授 小川 誠司先生

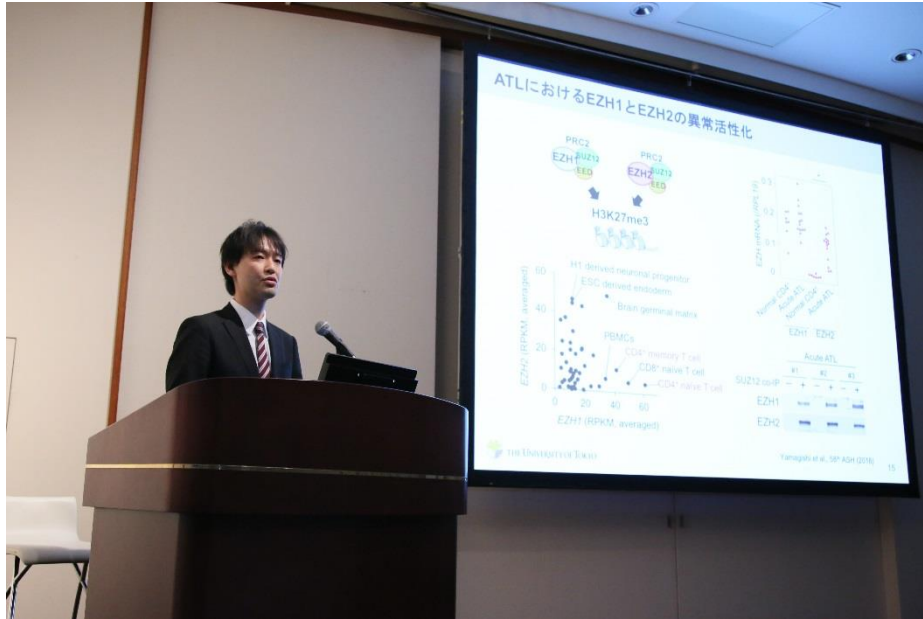
引き続き行われたシンポジウムでは、国立がん研究センター研究所 腫瘍免疫研究分野／先端医療開発センター 免疫 TR 分野長 西川 博嘉先生、熊本大学大学院 生命科学研究部 血液・膠原病・感染症内科学分野 教授 松岡 雅雄先生、東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 病態医療科学分野 山岸 誠先生にご講演をいただきました。



「免疫ゲノム解析によるがん免疫応答の解明」について講演された西川先生



「ヒトT細胞白血病ウイルス1型の生き残り戦略と病原性発現機構」について講演された松岡先生



「成人 T 細胞白血病における遺伝子発現制御の異常」について講演された山岸先生



会場の様子

以上

※ 高峰カンファレンスのプログラムは[こちらから](#)ご覧頂けます。